

黄色いエプロン

<見守り活動通信>

「黄色いエプロン」

って何・・・？

私たちの団地は六十五歳以上の方が全体の五十六%となる多い地域です。その中で一人暮らしの方で気になる人やちよつとした異変に気づき、サポートしていくのが私たちの黄色いエプロン（見守り活動）です。知り合いの方が少し気になるなあとか、ちよつと元気がないなあとか思ったら、すぐに私たち（自治会）の方にお知らせください。それが「黄色いエプロン」（見守り活動）と申します。

黄色いエプロンの活動は

団地内には時代の移り変わりとともにひとり暮らし高齢者世帯、病弱世帯が年々増え続けています。そこで平成二十二年に自治会役員で話し合いを行い、その結果、声かけや



見守りを行う訪問活動を地域で進めようとの気運が高まり、役員が中心となりボランティアを募集し現在十名のメンバーで、二人一組で黄色いエプロンを着用し訪問活動を行っています。

特に関係機関（行政、社協、地域包括支援センター、民生委員等）に連絡を要する場合は、速やかに連絡し対応してもらっています。

ボランティアを募集しています

よりきめ細かな活動をするために、少しでも多くの協力者が必要です。気軽にメンバーに入り一緒に活動してみませんか？特に男性のメンバーが少ないので、ぜひご協力ください。

マップ図は、いざという時に活用を！

役員でマップ図を作成して、ひとり暮らし高齢者世帯、病弱世帯の方を中心に見守り活動をしています。災害の時どこに要援護者がいるのか、自治

会役員、ボランティア、関係機関が一目でわかり、避難の時に大変有効に活用できます。



避難訓練の実施！

東日本大震災で、ある小学校では津波の避難訓練を何回となく繰り返し行われていました。その結果、今回の災害で誰一人の犠牲者もださなかつたそうです。我々もこの団地から一人の犠牲者をださないためにも避難訓練に参加しましょう。

- 一、自分の命は自分で守る。
- 一、余裕のある時は、病人・老人・幼児等を助け合う。
- 一、なんで逃げる

地震、火災、水害など、春夏秋冬、日中、夜中災害はいつ来るかわかりません